

テーマ	旬の食材を知ろう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な食材を知る ・季節によって収穫できる食材の違いに気づく ・土地と人とのつながりを大切にし、自分の体に必要な栄養を自然にとれる



	当初の予想	現状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・食に興味をもち食べることを楽しんでいる。 ・苦手な食材が分かるようになる ・好きな時間に食べたい量伝えて食べている。 ・食材の苗植え・収穫 ・年長児の毎日のお米とぎ ・年長児による給食配膳 	<ul style="list-style-type: none"> ・好き嫌いが分かるようになり、好きなメニューは「ください」と言える。 ・旬の食材(よもぎ、じゃがいも、さつまいも、ぶどう、なもこ等)を収穫し調理することで、季節と食材を肌で感じている。 ・好きな時間に好きな給食を選んで食べることで安心し、苦手な物への挑戦が意欲的になっている。 ・年長児が配膳することでコミュニケーションを楽しんでいる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のスペシャルランチで旬の食材一品をメインに食材の多様性を楽しむ ・毎月、旬の食材の香り感触、栄養の効能等の話しを年齢に合わせて行い、その日の給食で食べる ・毎日米とぎをする ・よもぎを収穫し、おやつを作る ・他にじゃがいも、さつまいもを植える 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペシャルランチで一品の食材から1種類以上の調理方法があることを食べて感じている。 ・毎月の食育で見た食材を知り、「栄養があるんだよ」「元気になるよ」と話しながら学んだことを共有して食べている。 ・毎日米とぎをすることで、食べてもらっ喜び、食べさせたいの意欲につながっている。 ・野菜を収穫し、煮たものを給食でみんな楽しんで食べている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・苦手な食材がある時は子どもたちの気持ちを受け止め、興味のある物を優先し、楽しく食べることを意識して配膳する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・給食担当が配膳することで、食に関心で聞く回数が増えている。「どう作るの?」「レシピが欲しい」等、家庭で給食の話題かできている。



自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・季節に合った食材を食育で学び、給食に取り入れることで季節感や体に必要なことを感じていたが、絶対に食べない子もいた。 ・保育教諭と連携を密にして子ども達一人ひとりの興味関心を感じ給食に反映させ楽しい給食の時間を作っていきたい。
------	---	--

A: 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B: 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C: 具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	保護者には、家ではなかなか食べない食材も園では、季節に合った給食で食べている様子を見て、園での給食に興味を持ってもらえている。
------------	---	---

テーマ	自分の楽しさを発表しよう！
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたいことを伝える ・自分の中で感じた楽しさを伝える ・仲間と共感する



	当初の予想	現状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・虫探しやごっこ遊び等、興味を持った遊びを個々に見つけて遊ぶ。 ・異年齢の二人組で話す、聞く時間を話し合いの中に3分程度を目安にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢関係なく他の子の遊びに興味を持つようになった。自分が楽しんでいることを他の子に伝えたり、仲間に入れてもらったりと子どもたち同士で遊びを共有し、一緒に何かをするという時間が増えてきている。 ・それぞれに自分のしたいことが確立し、意見のぶつかり合いが出てきた。子どもたち同士での折衝合いの付け方の練習中。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な素材を使い、作りたいものを作る。 ・知りたいことを聞く、調べる ・子どもたちの見たいこと、やりたいことがある場所に行く。 ・楽しかったことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた材料や素材を使って制作をする。(太鼓、車、恐竜等) ・知りたいことがあると、保育教諭に聞いたり、本や図鑑を見たり、iPadで画像や動画を検索して調べている。わからない文字があるよ、年上の子に聞いている。 ・朝の話し合いや夕方の振り返りの時間を使って、自分の楽しかったことを他の子に伝えている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと一緒にチャレンジする ・子どもたちの楽しさに共感したり、伝えきれない気持ちを代弁する 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で年下の2歳児や年少児もやってみたいことややりたいことを自分の言葉で伝えることができるようになってきた。 ・他の子の遊びを見て楽しいと思ったことを一緒に楽しもうとするようになった。



自己評価	B	<p>自分で見つけた「楽しい」をグループ内では伝えることができているが、発表できる場がグループ内だけになってしまっている。</p> <p>子どもたちが自分たちで伝えたいと思えるような活動ができるように一緒に考え、発表の場を作っていく。また、ティーター会議や休みの時間を使い、他のグループ担当と活動の内容を共有していく。</p>
------	---	---

評価基準
 A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>仲間との共感、友人とのつながり、新しいことへの挑戦、</p> <p>共感、経験、その活動の中で、自分と共感し、</p>
------------	---	--

施設関係者評価委員氏名

テーマ	「好き」を通して世界にひろげよう！
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・「好き」を表現することを楽しむ ・「好き」をむつみの外に伝える



	当初の予想	現状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・歌うこと、衣装を着てダンスをすることが好きな子が多い。 ・「こうしたい」「やってみたい」等、考えていることや自分の気持ちを伝えられるようになってきている。 ・まわりの子に興味や親しみをもち、関わるようになってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験したこと、体験したことを遊びに取り入れている(例えば、「昨日お祭りでふさこい見たよ」という会話から、ソーラン節のダンスに発展したり等。) ・まわりの子とイメージを共有したり、なりきってやまとりをしながらお祭りごっこを楽しんでいる。(舞台でチョコバナナ屋さんやかき氷屋さんなど、実際に自分たちが行って買ったことがあるものを作っている)
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな曲でダンスをしたり、衣装を来て好きな役になりきって踊る ・お絵描きを楽しむ ・ブロック、レゴブロック等を使って、自由に制作する ・公園や潮干のぼり探検をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい曲に挑戦し、自分達で制作したダンスを楽しんでいる。(ソーラン節、明日はきつと、りっぴになる) ・目的に応じた材料や廃材や色んな材料を使って舞台やお金、お財布作りの制作をしている。 ・他のグループを招いてお祭りごっこを聞いている。または聞く計画を立てている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・お互いの「好き」に興味や関心をもてるようになってきた。 ・ひとりひとりの「好き」をみんなで大切にできるような関わりを考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・やりたい遊びを保育教諭を含め、みんなで活動していったことで、ひとりひとりの「好き」をみんなで大切にできるようになった。



自己評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの「好き」をみんなで楽しんだり他のグループには伝えたり一緒に活動することができたが、むつみの外には「好き」を伝えられることができていない。今後の見通しとして2月に発表台があるので保護者の方だけでなく、地域の方にも来ていただけるよう呼び込みや声掛けをする方法を考える。
------	---	--

- 評価基準
- A: 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B: 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C: 具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>子ども達の「好き」を表現することができて、お祭りをきっかけとしてグループ間でも関わりが深くなるのを期待している。</p> <p>「好き」をむつみの外に伝える活動も、お祭りの機会を捉えて、お祭りに参加して伝える活動も行う。</p>
------------	---	---

施設関係者評価委員氏名

テーマ	自分の『楽しい』をみんなに伝える。
ねらい	・自分の好きなことをとことん楽しむ。 ・みんなの『楽しい』を理解し合えるようになる



	当初の予想	現状
子ども達の様子	・『みんなで遊びたい』というよりは、個々の遊びたいものを意見して遊ぶ。 ・二人組、三人組でできる遊びを保育教諭の誘いかけで行う。	・年齢を超えて、自分が楽しいと思う遊びを他の子にも共有して取り組もうとしている。 ・異年齢で活動することに慣れ、みんなで活動を楽しむための方法を年長児が中心になり考えたり、話し合いを進めたりしている。 ・体を動かす楽しさを知り、様々な運動遊びに意欲的になっている。
活動内容	・遊んで内容を思い出しながら、ひとりひとりでお絵描きをする。 ・ブロックや積み木、カプサ等の好きなものを作る。 ・園庭、戸外での活動。 ・『あぶくたった』、『なべなべそこぬけ』等の簡単なルールのある遊びをする。	・お絵描きをしながら、イメージしていることを他の子に伝えたり、大きな紙と一緒に絵を描いたりしている。 ・目的に応じた廃材を使って製作をしている（温泉作り、小人の町など） ・運動遊びをしている。（鉄棒、平均台、マット、縄跳び、跳び箱など）
関わり	・子どもたちが意見を話し合える場を作る。 ・子どもの興味関心を察知して活動に展開していく。	・二歳児～年長児まで自分の意見を話し合いの場に出せるようになってきた。 ・他児が楽しんでいることにも興味を持ち、一緒にやってみようとしている。



自己評価	B	・グループ内では『楽しい』の共有ができてきたが、他のグループへの共有ができていない。グループリーダー職員同士で、共有したあと、子どもたちにも他のグループがどんなことをしているのかを知らせる場を計画していく必要がある
------	---	---

- 評価基準
- A：具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B：具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C：具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	他児が楽しいを理解している様子から自分の『楽しい』が達成できていることが評価できる
------------	---	---

施設関係者評価委員氏名

テーマ	有名人への道を進もう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが園外へ散歩に行く 子どもたちが地域の人とたくさん知り合いになる



	当初の予想	現 状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことや物に興味を持っている リズム体操をしたり、散歩に行ったりして身体を動かしている チェーン落とし、ブロック、おままごとなど一人遊びを楽しんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 興味のある遊びや気になる遊びを見つくと自分でやったり、見に行ったりしている リズム体操をしたり、札幌公園へ散歩に出かけたりしている 自分で遊びたい物を選んで一人遊びを楽しんだり、保育士と一緒に簡単なごっこ遊びをしたりしている
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 活動の中で興味のあることを見つけろ 園庭でたくさん身体を動かす(這い這い、歩く、走る) 散歩に行き、地域の方にたくさん話しかけたり、手を振ったりする 	<ul style="list-style-type: none"> 札幌公園や赤坂の町、園庭などに出かけて身体を動かしている 指先遊び(箸遊び、お絵描き、シール等)運動遊び(鉄棒の山を上る、スロープを歩く等)など自分で選んで遊んでいる 絵本やダンスなど見たり踊ったりしている
関わり	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの言葉で伝えきれない気持ちを保育士が代弁する 子どもたちと一緒に発見を喜び合い、遊びを全力で楽しむ 子どもたちが興味を持った瞬間を見逃さず、つぶやきをすべて聞く 	<ul style="list-style-type: none"> 保育士や他の子どもと会話をしながら一緒に楽しんでいる 保育士と一緒に初めての遊びや、好きな遊びを楽しもうとすることが増えた



自己評価	B	<p>初めての場所や人に興味を持ち関わろうとする姿がある。また、言葉も増えてきたため他児と言葉のやり取りをすることも増えてきた。まだうまく伝えられない際は、保育士が問い入り代弁したことでその中でも少しずつ言葉を感じやり取りをするようになった。子どもたちが身の回りでできることや興味があることを職員間で共有することで、どの職員が対応して何回も動きができるようにしていく。</p>
------	---	--

評価基準
 A：具体的に活動が写され目標を達成できた
 B：具体的に活動はなされているが、目標は達成できていない
 C：具体的に活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A	<p>これから秋入出しているから、体を動かしている、早くおしゃべりができて喜んでいる。</p>
------------	---	---

テーマ	人と触れ合おう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士と一緒に初めての遊びをする ・身近な人と過ごす喜びを感じる ・身の回りのものに関心を持つ ・のびのびと気持ちよく身体を動かしたりスキンシップをとったりする



	当初の予想	現状
子ども達の様子	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの生活リズムで過ごしている。 ・自分より大きい子どもたちの遊びの様子に興味を持っている。 ・干り遊びや這い這いで室内や園庭を散策している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの授乳時間や離乳食の時間、睡眠時間を確認して個別に対応している。 ・他の子の遊びに興味を持つようになり、自分から向かって行くことが増えてきている。 ・這い這いや歩行で移動し、室内や園庭で散策を楽しんでいる。
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・振り玩具や吊り玩具などで遊ぶ。 ・他の子と一緒に遊んだり、地域の方に挨拶をしたりする。 ・園庭や家周辺の散歩に行く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り玩具や吊り玩具を見たり、触れたりしながら遊んでいる。 ・保育士が出入り会った方々に挨拶をし、それを見たり、聞いたり、触れたりしている。 ・他の子や1歳児と一緒に園庭や園裏辺り(坂公園)へ散歩に出掛けている。
関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの気持ちを代弁し受け止めて関わる。 ・一人ひとりの生活リズムで過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・泣いたり、怒ったり、笑ったりなど自分の気持ちを表現するようになった。 ・離乳食の種類が増えたり、心地良く寝たりと、一人ひとりの生活リズムで過ごすようになった。



自己評価	B	他の子の遊びに興味を持って行くことが増えてきたが、行った先で月前に合った玩具が準備できていた、日時がある。そのため職員間で環境構成(ラックや棚の配置、玩具の見直し、物の種類等)を話している。
------	---	---

- 評価基準
- A: 具体的な活動がなされ目標を達成できた
 - B: 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない
 - C: 具体的な活動はなされておらず、目標も達成できていない



施設関係者評価と意見	A.	3/17、各評員個人より2-4の合計数値として2.5は達成者として安心です。
------------	----	--